

は じ め に

令和 6 年度の上伊那保健体育研究会の実践や研究の成果、歩みが、本年度の「高嶺」としてまとめられ、ここに発刊されました。

今年度よりコロナ禍以前の活動に戻して事業を計画し、95 名の会員で出発し会員の皆さんの積極的な参加や協力により、活気ある上伊那体研の活動が展開されました。

7 月 3 日に箕輪北小学校で研究部出発の会を行い、16 名の先生方が参加され、熱い討論がなされました。村沢研究部長から今年度上伊那体研として力を入れていきたいことが話され、授業校の箕輪北小大鷹先生、箕輪中鵜飼先生から授業の構想やクラスの様子をお聞きし、研修会に向けての準備が行われました。

7 月 29 日に、南箕輪小中学校をお借りして行った夏期研修会には、大勢の会員にご参加いただき、箕輪北小学校、箕輪中学校が取り組もうとしていた授業の領域・内容について、教材研究と授業づくりを進めていただきました。本年度は、実技講習会を早めに行い、その後の授業に生かしていきたいという願いから、夏期研修会に併せて行いました。表現運動、幼児の運動遊び、体づくり運動を中心に伊那東小学校小林 智哉先生、美篤小学校塩崎 寛先生に実技講習を行っていただき、2 学期からの授業づくりに生かせることができました。お二人の先生ありがとうございました。

10 月 30 日の学習指導研究会当日には、児童・生徒が運動に向かい合い、生き活きと活動する授業をご提供いただきました。感謝申し上げます。また、信州大学教育学部教授岩田 靖先生にも、これまでに引き続きご指導いただき、本会の研究に関するご講演をいただきました。研究内容や成果、岩田先生の講演については、この高嶺に記載されています。会員の皆様には、今後の授業づくりに生かせるよう、今一度目を通していただければと思います。

本年度授業校の校長で上伊那教育会会長赤羽 隆先生が、教科等教育研究会のあり方についてお話をされた中に、「体研」はなぜ会員が多いのかについて触れられました。上意下達で先輩に無理やり連れてこられているイメージがあったようですが、学習指導研究会での授業公開・研究会、研究推進、講演会から会員の熱意を感じ、参加したくなる研究会になっていることとお話してまいりました。まさに上伊那体研の事業は、体育の授業を充実させ、児童・生徒が体育を通していかに成長することができるのかを追究するものです。予測不能と言われる今の世の中で、子ども達がつけるべき力について、学校に求められるものも変わってきています。現場の教師が、より適切な授業を追究し続ける必要があります。我々体育研究会の会員は、仲間と一緒にその追究を今後も続けていきたいという思いがあります。その場だけの授業づくりに終わらず、今後の体育授業の発展につなげて行かれるよう、共に頑張りましょう。

結びになりますが、本研究会をお支えいただいた上伊那教育会、信州大学教育学部教授岩田靖先生、そして、上伊那保健体育研究会の役員をはじめ会員の皆さまに心より感謝しお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和 7 年 3 月

上伊那保健体育研究会 会長 沼野 俊彦 （伊那市立春富中学校）